

委員会名	平成 30 年度 第 4 回教育に関する事務の点検・評価委員会		
開催日時	2019 年 1 月 21 日（月）13:00～14:00	開催場所	豊島区庁舎教育委員会室
出席者	<p>【教育に関する事務の点検・評価委員】 壺内委員、工藤委員、福元委員</p> <p>【豊島区】 三田教育長、城山教育部長、佐々木庶務課長、木山学務課長、高桑放課後対策課長、宮本学校施設課長、加藤指導課長、鮫島教育センター所長、関統括指導主事</p> <p>【事務局】 木本係長、古味、池田</p>		
資 料	平成 30 年度教育に関する事務の点検・評価委員会報告書（案）について		
傍聴人	0 人		
議事録作成者	庶務課学校 ICT グループ：池田	作成日	2019 年 1 月 21 日（月）

発 言 者	発 言 内 容
佐々木庶務課長	教育に関する事務の点検・評価委員会を開会に先立ちまして、三田教育長よりご挨拶を申し上げます。
三田教育長 壺内委員長	ただ今から第4回 教育に関する事務の点検・評価委員会を開会いたします。議事の1である教育に関する事務の点検・評価報告書（案）について、説明をお願いします。
佐々木庶務課長 壺内委員長	—— 資料1：報告書（案）の説明
壺内委員長	それでは、児童・生徒の推移と隣接校選択制についてご質問、ご意見ございますか。
工藤委員	報告書の課題の中に「人的格差が広がる」という表現がありますが、この人的格差とう表現は何に基づいているのでしょうか。
木山学務課長	表現が分りづらく申し訳ございません。児童数とそれに伴う教員数といった人数的なところで小規模校、大規模校が出てきてしまっていることを表現したかったので、分かりやすい表現に訂正をいたします。
工藤委員	やはり、様々な学校行事などに支障が生じてくるのではないかと思います。そのあたりについて説明があると良いかと思います。
福元委員	報告書全般になりますが、語尾が統一されていない箇所があります。議会等に報告されるとのことですので、記載の確認をいただきたい。
福元委員	兄弟がいる保護者の方々に、児童数が区内全域で上昇してきていること、安定した教室の確保などが目的となってきていることなどの実情を予めご理解いただくことで、この事業が有効に進めやすくなるのではないかと思います。どの地域でも地元の学校が一番好きだと言って欲しいと思っております。学区域の堺目にお住まいの方、兄弟がおられるご家庭に、ご理解を得られるように周知等を行っていただきたいといった表記を追記していただけますか。
壺内委員長	ありがとうございます。よろしいでしょうか。よろしく願いいたします。続きまして学校開放事業についてご意見ををお願いします。
工藤委員	効率性、有効性共にAということで、地域の方に大変重要な事業だと思えます。来年度、体育館の冷暖房化を進めることについて報告書にも記載がありますが、全体的に小学校の設備面についての記載が多く感じます。この改修に関しても小学校、中学校どちらだけなのか、両方なのか明記したほうが良いかと思います。
宮本学校施設課長	ご指摘のとおり、小・中学校全校での実施となりますので、その様に記載を訂正いたします。
壺内委員長	ありがとうございます。避難場所といったことも考えますと、平成31年度に実施するということは区民からしても素晴らしいことだと思います。
福元委員	体育館の冷暖房整備は効率性、有効性において大きいと思えます。体育館を利用される団体は多いと思えますので、地域コミュニティの形成とい

<p>壺内委員長 工藤委員</p>	<p>った面からもより一層利用しやすい環境になることは評価できると思います。</p> <p>では、日本語初期指導についてお願いいたします。</p>
<p>鮫島教育センター長</p>	<p>先ほど教育長からも外国人の居住が多くなってきているとありましたが、どういった記載が良いかはわかりませんが、増加の程度について記載したほうが良い気がします。</p>
<p>福元委員</p>	<p>今まではネパールのお子さんは英語が話せるということで行ってきた通訳が、現地の言葉のみで英語が話せないといったケースや、ベトナム、ロシア語などのケースが増えております。中国語、ネパール、フィリピンの方で英語といった状況でしたが、最近では国際的、色々な文化の方が来られています。そういった点について記載をさせていただきます。</p>
<p>三田教育長</p>	<p>多国籍化ということが只今のセンター長からの説明からも伝わってきました。今間で通訳の方が主に英語で対応されていた点ですが、今後は現状以上のものが求められてくると思います。さらに多国籍化への対応といったこともご検討いただけたらと思います。</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>今年度当初、各小・中学校の児童生徒の割合を調査したところ、全ての幼稚園、小・中学校で外国人が在籍しておりました。国籍別でわけますと、28か国語くらいになりました。これら全てに対応することは非常に難しい状態です。昨年度以前から翻訳ソフトといったアプローチと、お子さんや保護者の方と直接話せる通訳サービスと契約をするといった初期対応、初期指導を行っています。入級、転入して来た時、困った時にすぐ対応可能といったことで導入しております。最近はそのようなソフトが色々出てきているといった一面と外国籍の子供たちが増えてきている状況があり実施してきていますが、事業展開としてはまだまだ追い付いていないと思っております。先週、センターに行った際にベトナム人の中学1年生のお子さんと話す機会がありました。日本に来た4月時点では全く日本語が話せなかったのが、センターの日本語教室に通い続けて、自分の思い、決意といったものを日本語、ひらがな、漢字を使って書いていました。丁寧な個別対応があれば子供の成長はとても速いものだと感じました。言語の問題は文化の違いを理解していくとか、教育の上でも授業を受けながら知識、能力を身に付けていかなければならない、といったことがありますので、初期指導を含めて非常に重要だと考えております。</p>
<p>福元委員</p>	<p>昨年末、日本語学級を設置している池袋小学校について、東京都教育委員会の教育長を初め11名の部課長が視察をしていられました。</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>ありがとうございました。これから外国人の子供たちは増えていくことと思います。先を見越した事業の運営をお願いします。</p>
<p>福元委員</p>	<p>続きまして、ふくろう・みみずく資料館についてお願いいたします。</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>現地視察をしまして、展示のスペースが課題であると感じました。ふくろう、みみずくは人気があるとのことで、豊島区の文化発信、ブランド作りに寄与できる可能性があると思います。今後設置場所についても検討していくとのことですので、よろしくお願いいたします。</p>

佐々木庶務課長	施設をご覧いただきありがとうございました。施設につきましては制約がある中での事業でございますので、教育委員会だけではなく区の施設改修とも合わせて移転を検討し、さらに充実を図ってまいりたいと考えております。
壺内委員長	ありがとうございます。工藤委員ございますか。
工藤委員	佐々木課長のお話ですが、前向きな形で捉えていただきありがとうございます。有効性の欄にすすきみみずくの物語といった記載がございます。この辺りは指導課等で教材、資料等を作成されているのでしょうか。
加藤指導課長	すすきみみずくにつきましては、南池袋小学校の主に4年生が総合的な学習の時間に教材として作成をしながら、ふるさと学習プログラムとして実施をしています。また、南池袋小学校のエントランスに大きなすすきみみずくが展示してございます。子供たちはそれを見ながら地域の事を振り返りながら学習を進めているところでございます。今後、全校での実施について進めていく必要があると考えております。貴重なご意見をありがとうございます。
工藤委員	私も豊島区の西端にある旧第十中学校に勤務をしておりましたが、区としては狭いと言いつつも、こういった意味では広いと思います。近隣の情報は集まっても遠い東側地域の情報等は中々集まらないと感じました。やはり庶務課、指導課で連携をしながら全校に発信をする努力が必要かと感じました。本日、力強い発言をいただきましたので、今後進めていただければと存じます。
三田教育長	南池袋小学校が本庁舎に一番近いということもあり、研究会や子供たちの発表会等の会場として実施することがあります。学校経営研修会等でも利用されることもあり、関係者が観る機会が多くあります。本来であれば、いずれにしても郷土資料館等に位置付けるべきと思います。開館当時は財政的に厳しい時期であったこともあり、別個の建物ではなく南池袋小学校を立てる際に、何とか素晴らしいコレクションを展示する場所をとということで進めてきた経緯がございます。その後新庁舎が建ち、年2回定期的にコレクションの展示替えを行っております。資料館自体に訪れる機会は少なくとも本庁舎内に展示してあることで、広く区民にご覧いただいている状況かと思えます。
壺内委員長	南池袋小学校も教室が不足しつつあります。区の施設と総合的に検討を進めていく必要があると考えております。
福元委員	ありがとうございます。ではつぎの事業である「大規模改修事業・学校トイレ緊急改善推進事業」についていかがでしょうか。
福元委員	富士見台小学校を視察させていただきありがとうございます。やはりトイレの使いやすさについてはとても印象に残っております。実際に利用された方々にも好評とうかがっております。利用者の目線から見ても、良いものとなっていて有効性は大変高いと感じました。
工藤委員	基本的な質問ですが、大規模改修の大規模とは金額的なことなのか、定義はどのようになるのでしょうか。

宮本学校施設課長	<p>工事の規模ということもありますが、基本的に設計を前年度に行い、設計を基に翌年度実施をするもの、学校施設か、施設整備課のほうで計画を立てて実行している工事を大規模改修事業と位置付けております。</p>
工藤委員	<p>ありがとうございます。達成度の項目に記載してあるトイレ改修、空調整備、校庭改修、全て小学校となっています。巢鴨北中学校が新校舎を建築中ということですが、ここだけを見ますと小学校に注力した分、中学校が放っておかれている印象を受けてしまう気がしますでしょうか。</p>
宮本学校施設課長	<p>トイレにつきましては、昨年度に中学校の設計を行っております。今年度に一校改修をしてございます。また、中学校の方が改築の割合が高くなっておりますので、中学校についてもある程度の改修は進んでおりますが、目立つ表記とはなっていないものと考えます。</p>
壺内委員長	<p>では最後の事業、「秋田県能代市との教育連携」についてご意見等ございますでしょうか。</p>
工藤委員	<p>効率性、有効性が共にAと評価いたしました。能代市との提携の中で教員も育ち、色々な形の中で良い環境、リレーションシップなども整ってきており、良いところはお互いに共有しながら進められていると思います。</p> <p>前回、いなか体験事業の「いなか」という言葉について変更することはできないかと発言をいたしました。実際に能代市との子供交流、いなか体験というのが正しい名称で現在も使われているということでしょうか。</p>
加藤指導課長	<p>公的な文書につきましてはいなか体験という言葉を使用しております。前のご指摘をいただきましたので、表現については今後再考を図っていきたいと考えます。</p>
工藤委員	<p>正式な名称として使用されていることは知らずに難しい課題を投げかけてしまい申し訳ございませんでした。生徒の報告会等で「第二のふるさと」といった前向きな良い言葉が出てきておりますので、変えることができるようになるのであれば、そのような言葉を貰うことも大事だと思いますので、ご検討をお願いいたします。</p>
三田教育長	<p>正確に申し上げますと、総務省が推進している「ふるさと再生」の中の柱として、いなか体験事業の実施があります。それまでは、教員だけの交流でしたが、能代市の方からの提案を受けて、まず、能代市生徒の受け入れを行いました。その後、豊島区でも新しく事業を組み立てて提案をしようとなり、互いに交流が行われるようになりました。名称について能代市側の提案もありますので、今後、情報交換を行ってまいります。</p> <p>いずれにしても、2泊3日といった短い期間でも交流の最終日には涙ぐみながらさよならし、自分の街との違いを感じ、そこで生活をしている人達から学んで、成長をしているということは間違いのない事実であると思いますので、事業としては今後も継続してまいりたいと考えております。</p>
壺内委員長	<p>ありがとうございます。文部科学省もひらがなで、いなか体験という体験学習を実施していたと思います。修学旅行等も関西から東北に路線変更</p>

福元委員	<p>をした時代もありました。ひらがなの「いなか」という言葉を意図的に使いながら体験学習をするということもあるのではないかと思います。</p> <p>これまでの能代市との教育連携で、実際に学習の成果が出てきており、加えて中学校の相互交流の実施では、農業体験など区内では味わえない体験をするということは、10代の姓とにとっては感性を磨くという意味でも非常に有効だと思いました。</p>
工藤委員	<p>細かいことになりますが、手法欄の②に「対話的、深い学び」とありますが、学習指導要領としては「対話的で深い学び」となるのではないのでしょうか。</p>
壺内委員長	<p>ご意見をいただきありがとうございました。委員の皆様から追加、修正のご意見を頂戴しましたが、報告書への反映はどのように行いますか。</p>
佐々木庶務課長	<p>本日はありがとうございました。いただきましたご意見に関しましては、報告書に加筆修正を行った上で、最終版として委員の皆様にお送りしたいと考えております。ご確認をいただいたうえで報告書として取りまとめたいと考えております。よろしくお願ひいたします。</p>
壺内委員長	<p>郵送されたものを最終確認するというところでよろしいでしょうか。</p>
工藤委員	<p>はい。</p>
壺内委員長	<p>ありがとうございます。それでは、本日の内容を加筆・修正したものを最終確認して頂くことでお願ひいたします。事務局から何かございますでしょうか。</p>
佐々木庶務課長	<p>平成27年度に現在の教育ビジョン2015を策定いたしました。このビジョンの中の重要施策について点検・評価をいただいていたところでございます。現在新たな教育ビジョンの策定に向けて検討を進めているところでございます。壺内委員長におかれましては平成23年度から委員長職務代理として、平成27年度からは委員長として点検と評価をいただいていたこと、工藤委員におかれましても平成27年度から委員長職務代理の職を担っていただいているところ、福元委員におかれましては昨年度からお引き受けいただいているところでございます。次の教育ビジョンに向けましても、こういった点検・評価は大変重要であると考えております。</p> <p>委員の皆様から点検と評価をなさってのご感想、ご意見等を頂戴できれば大変ありがたいと考えております。よろしくお願ひいたします。</p>
壺内委員長	<p>はい。ありがとうございます。では、工藤委員からお願ひいたします。</p>
工藤委員	<p>4回にわたって委員をさせていただきましたが、先ほど委員長からも豊島区の先駆的な行政の進め方、区長を始め何か新しいことを進めながらリーダーシップを執るといったことが、教育の中にも多く反映していると再確認いたしました。今後ともより良い教育委員会の事業推進がなされることを祈念しまして、委員としての一年間は大変貴重な時間であったと考えております。ありがとうございました。</p>
福元委員	<p>本当に限られた予算、人員の中で最高のアイデアを出しながら、大変ご苦労なさって様々な事業を実施されていることが良くわかりました。本日の第4回までありがとうございました。</p>

<p>壺内委員長</p>	<p>委員を引き受けて何年になるのかと思いましたが、先ほどのお話で驚きました。日本の教育界の動きも含めて、事務局の皆様と一緒に勉強させていただきました。</p> <p>実行力のある新しい事業を、事務局の皆様が生き生きと実施し、視察で学校を訪問すれば、来て良かったと実感でき、子供たちを見れば生き生きとしている。私たちが行っている事業が最終的には子供たち、あるいは地域に跳ね返っていくということでは満点に近いと思います。教育長のリーダーシップの基に教育委員会、各学校と地域が一体となって進んでいることを目の当たりにしまして、本当に勉強させていただきました。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。</p>
<p>佐々木庶務課長</p>	<p>ありがとうございました。最後に総括ということで教育長よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>三田教育長</p>	<p>3名の委員の皆様、本当にありがとうございました。私もこの制度ができてトップランナーでやってきた事業の一つです。初代委員長を務められた飯塚先生は、私が教員であった当時は指導部長をされており、非常に厳しい先生でした。微に入り細に入りご指導いただきました。豊島区の教育ビジョンの策定でもご指導いただきましたし、後半戦では壺内委員長がまとめ役として10カ年の基本計画の仕上げをしていただけたと思っております。私としても一つの区切り、節目として教育ビジョンの重点的な取り組みが豊島区の教育をどれだけ大きく変えて来られたのかを振り返ってみました。今日、学校施設のあり方検討会の報告書をまとめるために担当課長と話しました。改築等を進めてきましたが、オリンピック等のこともあって、経費は当初積算の3倍に膨らみ、人手、資材不足も重なり、オリンピック景気の後がどうなるのか非常に心配されています。しかしながら学校施設の老朽化は進みます。今検討しているのがスーパーリニューアルになります。アクティブラーニングの先駆者になれるようなICT化のための図書室の学習情報センターへの改修や、生物の多様性、地球温暖化について学ぶエコスクール、緑化対策等、今まで改修、改築で積み上げてきたノウハウ全てを今後の改築に盛り込んでいこうと考えております。教育の事業評価で培ってきたノウハウを検討中の新しい教育ビジョンのDNAにセットして、豊島区型の教育改革の在り方、進め方のスタンダードとして新しい時代を切り開いていくように繋げていきたいと考えております。一つの区切りではございますが、委員の皆様には、引き続き豊島の教育にご指導、ご鞭撻を頂戴できましたら大変ありがたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上を持ちまして、本年度最後となります、第4回教育に関する事務の点検・評価委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: center;">—— 閉 会 ——</p>